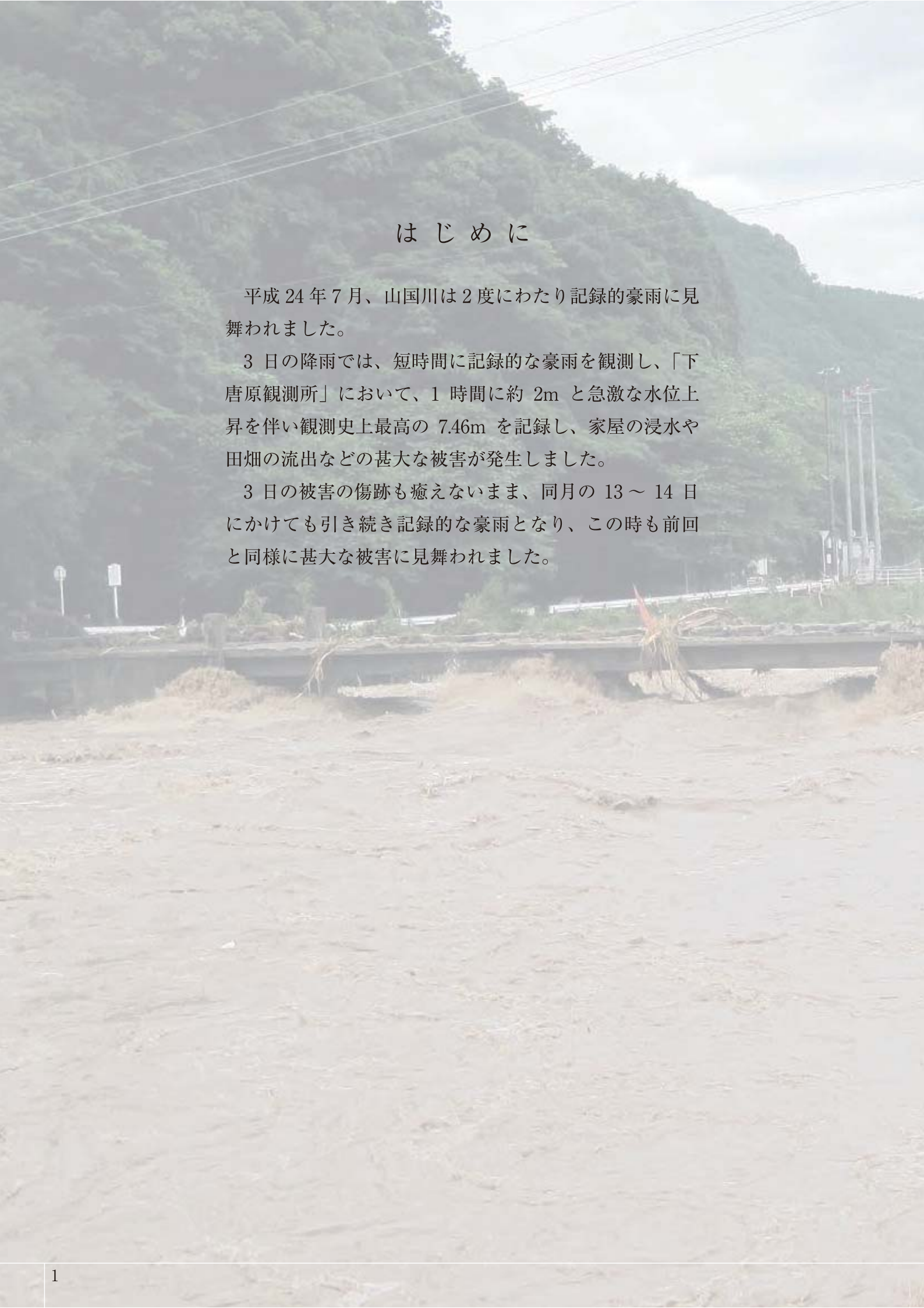
山国川水系
九州北部豪雨災害の記録

H24.7.3、7.13～14

国土交通省　九州地方整備局　山国川河川事務所



はじめに

平成 24 年 7 月、山国川は 2 度にわたり記録的豪雨に見舞われました。

3 日の降雨では、短時間に記録的な豪雨を観測し、「下唐原観測所」において、1 時間に約 2m と急激な水位上昇を伴い観測史上最高の 7.46m を記録し、家屋の浸水や田畑の流出などの甚大な被害が発生しました。

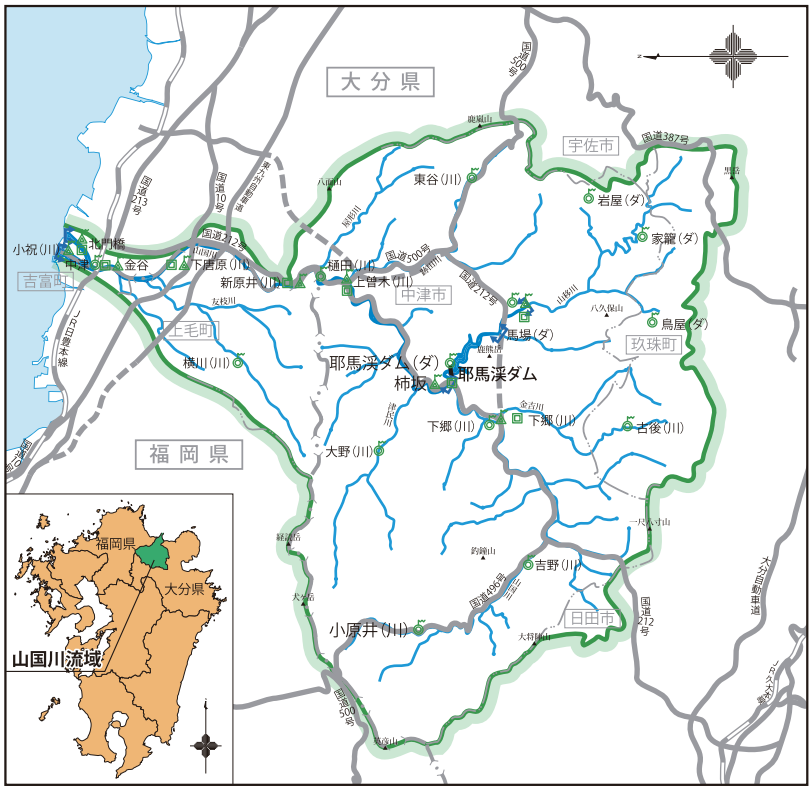
3 日の被害の傷跡も癒えないまま、同月の 13 ～ 14 日にかけても引き続き記録的な豪雨となり、この時も前回と同様に甚大な被害に見舞われました。

目　　次

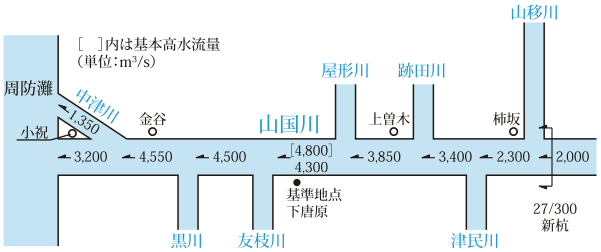
・山国川流域の概要 …… 3－4
・九州北部豪雨の概要（平成24年7月3日）…… 5
・九州北部豪雨の概要（平成24年7月13～14日）…… 6
・山国川流域の雨量概要 …… 7
・災害発生までの気象・警報等の経緯 …… 8
・山国川出水時の時系列表（平成24年7月13～14日）…… 9－10
・山国川水位の概要（平成24年7月3日）…… 11
・山国川水位の概要（平成24年7月13～14日）…… 12
・耶馬渓ダムの洪水調節効果 …… 13－14
・浸水状況 …… 15－34
・新聞記事 …… 35
・北部九州豪雨を踏まえた河川整備計画の変更 …… 36
・山国川床上浸水対策特別緊急事業等における整備箇所（直轄事業）…… 37－38

山国川流域の概要

■山国川水系流域図



■計画高水流量図

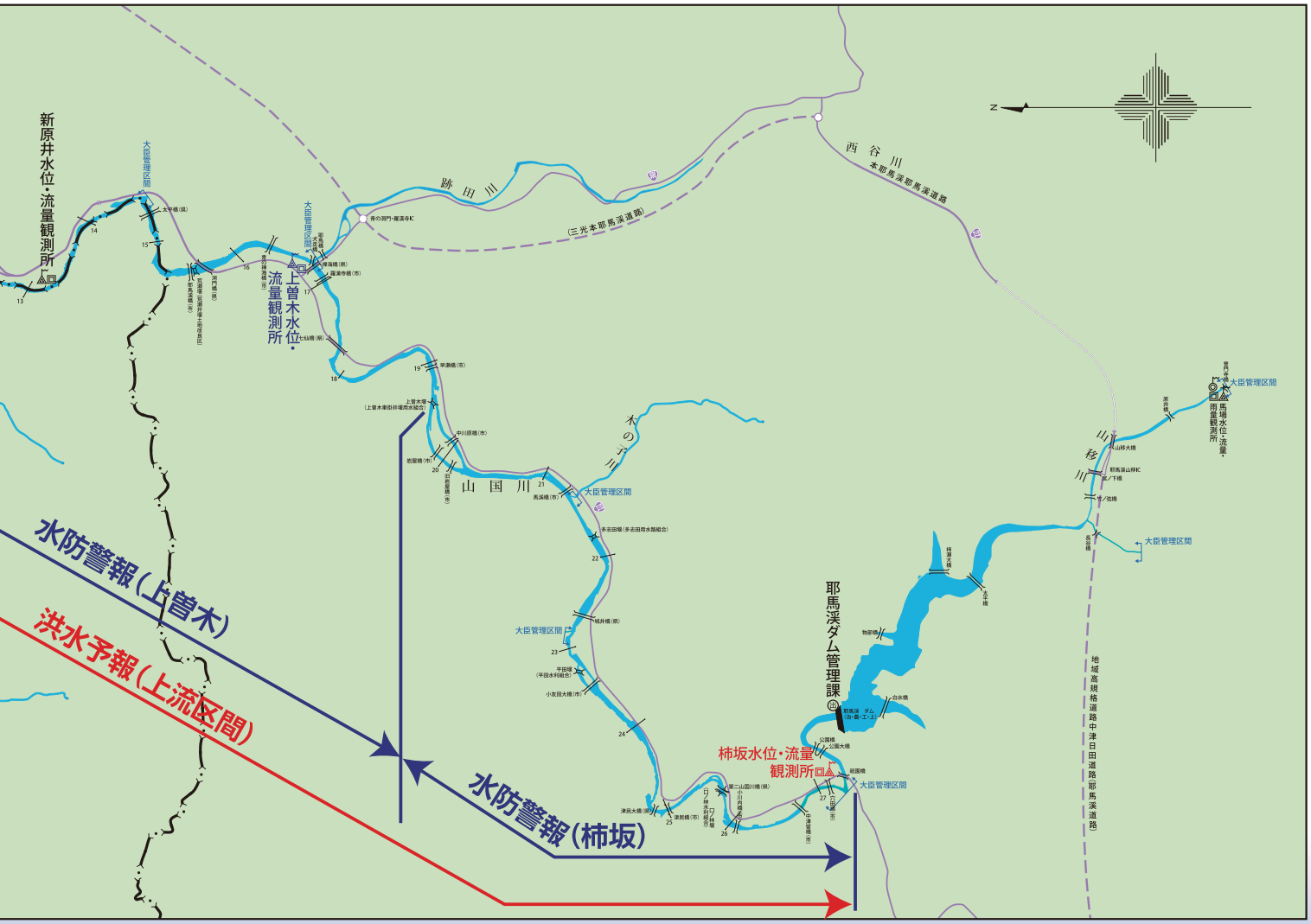


山国川下流に広がる中津市街地

山国川概要	
水源地及び標高	大分県中津市山国町英彦山　　標高1,200m
流域面積	540km²（山地 約488km²、平地 約52km²）
流路延長	本川 56km、その他友枝川 13km、跡田川 12km、津民川 12km、 指定区間外 36km、指定区間 168km、総延長 204km
氾濫防御区域	38km²（大臣管理区間 35.6km²）
大臣管理区間	本川 27.6km、派川中津川 1.4km（支川山移川外 7.5km）、総延長29.0km（36.5km）
計画高水流量	（基準地点）下唐原　基本高水流量 4,800m³/s　計画高水流量 4,300m³/s

■過去の主な出水被害

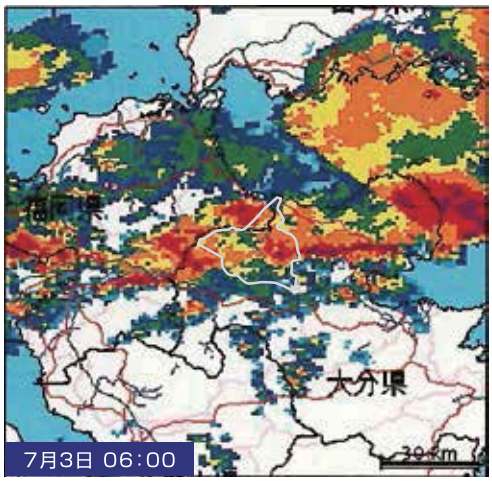
洪　水　年	原　因	主な被害状況
明治26年(1893)10月13～15日	台風2号	死者27名、負傷者48名、浸水家屋5,100戸
大正7年(1918)7月12日	台風5号	死者・行方不明者10名、床上浸水104戸、床下浸水298戸
昭和19年(1944)9月16～17日	台風16号	浸水家屋：約7,800戸、浸水面積：約1,600ha
昭和28年(1953)6月25～29日	梅雨前線	死者・行方不明者1名、床上浸水605戸、床下浸水3,196戸
平成5年(1993)9月2～4日	台風13号	床上浸水99戸、床下浸水139戸、浸水面積：約27ha
平成19年(2007)8月2～3日	台風5号	床上浸水4戸、床下浸水4戸、浸水面積：約0.8ha
平成24年(2012)7月3日	梅雨前線	床上浸水132戸、床下浸水62戸、浸水面積：約58.1ha
平成24年(2012)7月13～14日	梅雨前線	床上浸水125戸、床下浸水63戸、浸水面積：約50.1ha

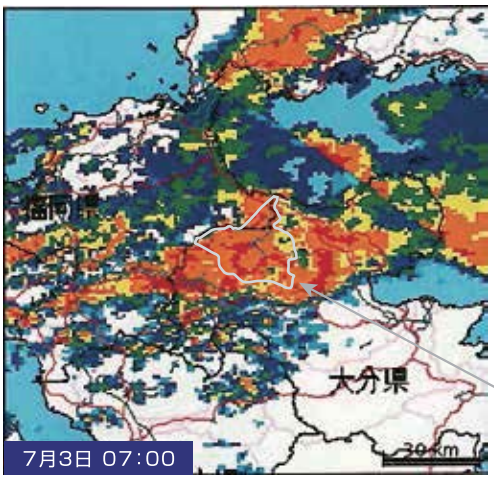


九州北部豪雨の概要（平成24年7月3日）

九州北部地方は梅雨前線の影響により6月30日から7月1日にかけて各地で大雨となり、その後一旦小康状態となりましたが、7月3日の明け方から昼前にかけて、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定になり、福岡県筑後地方や筑豊地方、大分県西部や北部を中心に、記録的な豪雨がもたらされました。

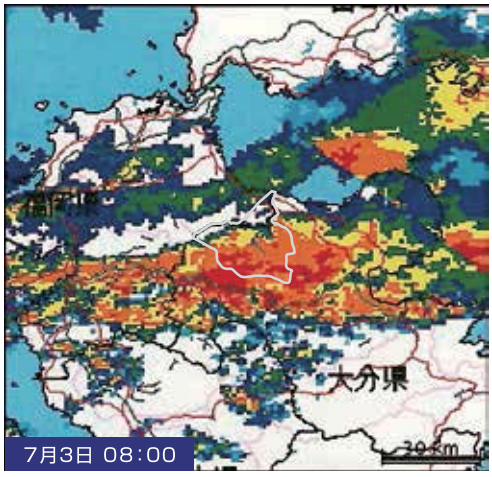
■気象レーダー雨量

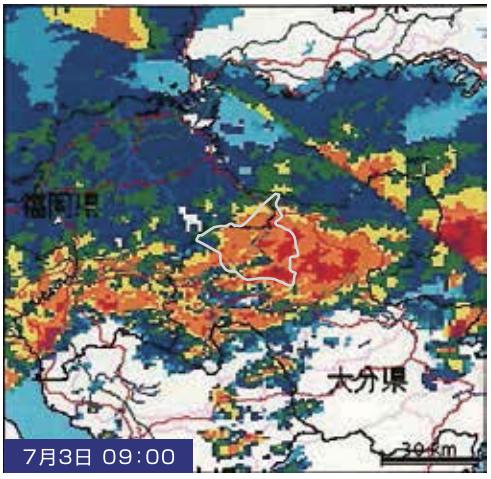




山国川流域

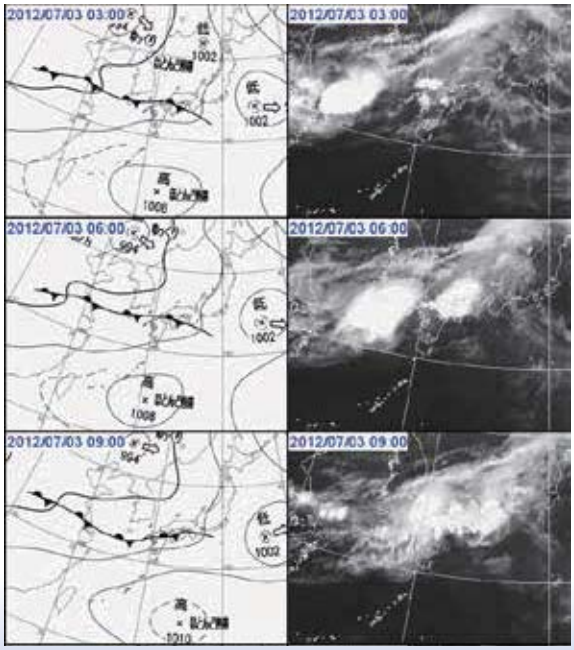
【九州・中国などで大雨】
前線活動が活性化し、西日本中心の大雨。福岡県添田町英彦山86.5㎜／1h、大分県中津市耶馬渓ダム75㎜／1h、193㎜／3hと観測史上1位を更新。

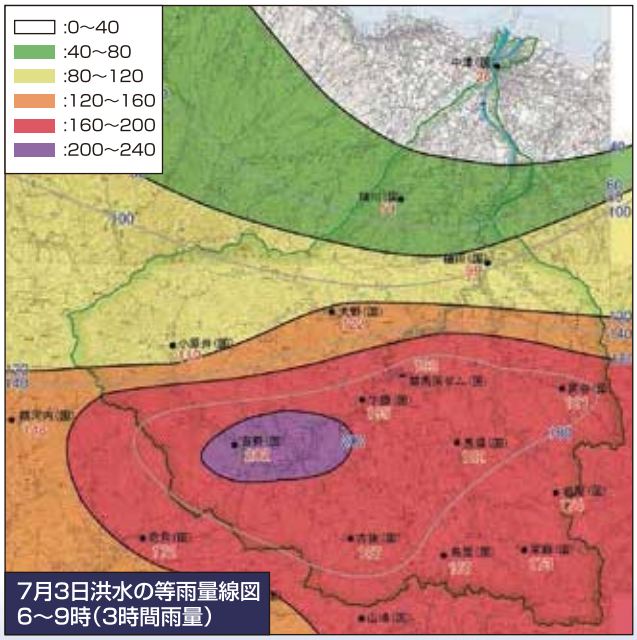




凡例（総雨量）

- 100㎜/h～
- ～100㎜/h
- ～50㎜/h
- ～20㎜/h
- ～10㎜/h
- ～5㎜/h
- ～1㎜/h
- ～0㎜/h
- 欠測



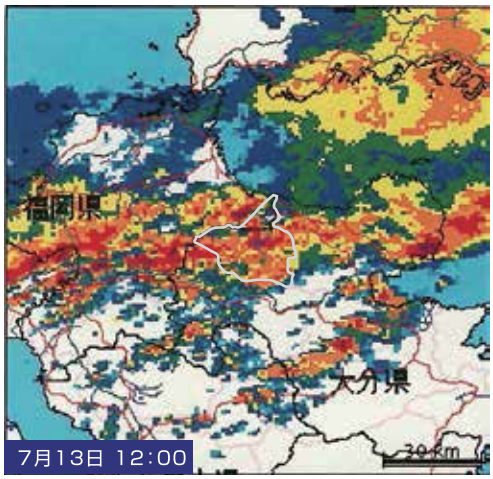


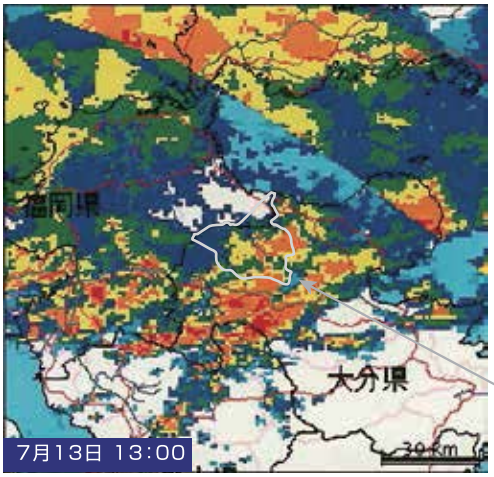
7月3日洪水の等雨量線図
6～9時（3時間雨量）

九州北部豪雨の概要（平成24年7月13～14日）

7月13日～14日にかけて、福岡県、熊本県、大分県を中心に再び記録的な豪雨が発生しました。7月13日に対馬海峡にあった梅雨前線が午後には朝鮮半島まで北上し、14日まで停滞した影響により13日から14日にかけて九州西海上から暖かく湿った空気が流れ込み、13日の夜から14日の夕方にかけて非常に発達した雨雲が次々に流れ込み大雨になりました。

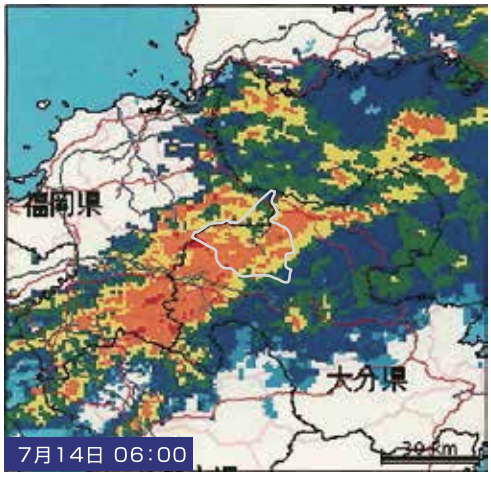
■気象レーダー雨量

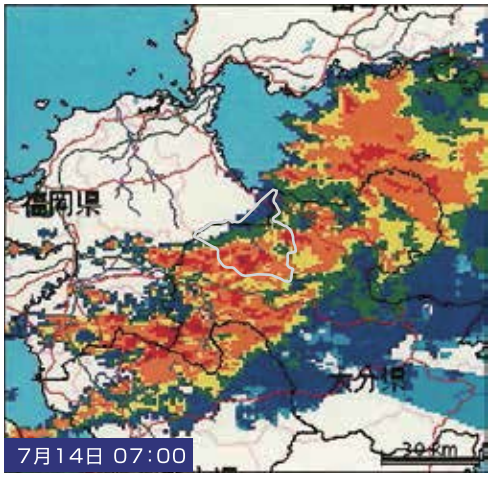




山国川流域

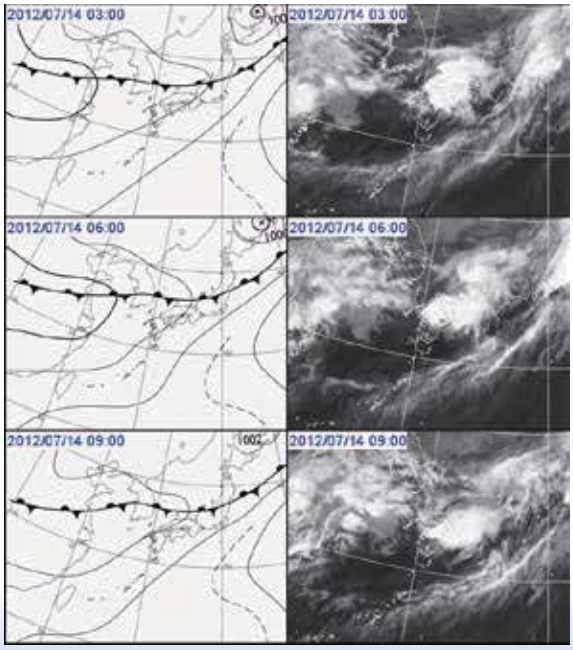
【梅雨前線が本州付近に停滞】
九州各地で猛烈及び非常に激しい雨。中津市吉野で65㎜／1h、142㎜／3hという観測史上1位を更新。

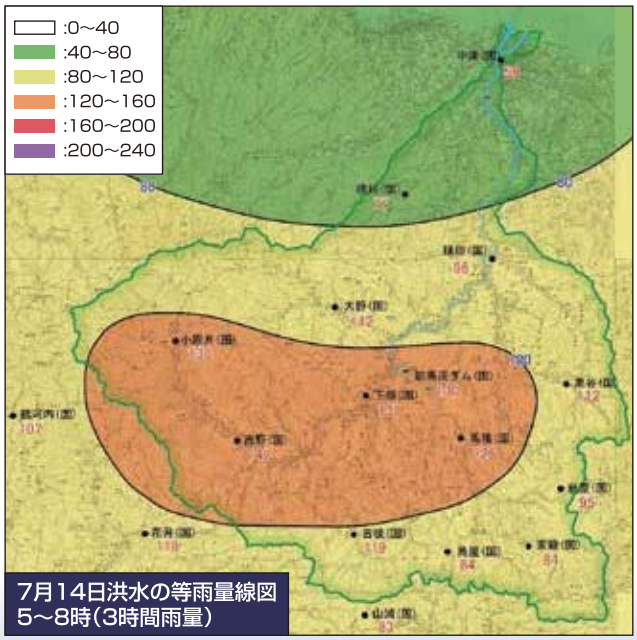




凡例（総雨量）

- 100㎜/h～
- ～100㎜/h
- ～50㎜/h
- ～20㎜/h
- ～10㎜/h
- ～5㎜/h
- ～1㎜/h
- ～0㎜/h
- 欠測



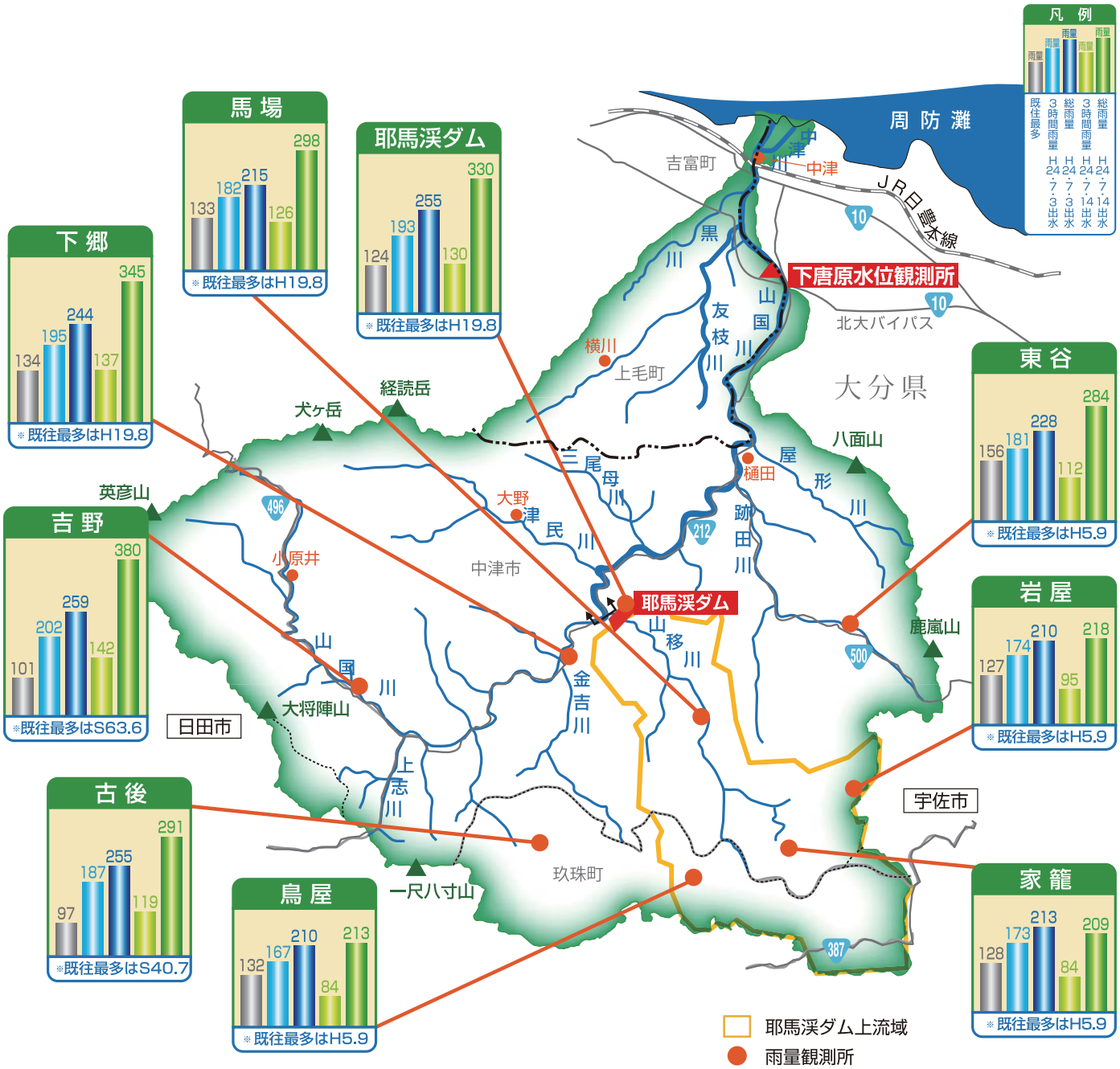


7月14日洪水の等雨量線図
5～8時（3時間雨量）

山国川流域の雨量概要

山国川では、7月3日に中津市下郷雨量観測所で1時間73㎜、3時間195㎜の観測史上最多の記録的な豪雨となりました。また、13日から14日にかけて、再び記録的な豪雨となり、中津市下郷雨量観測所では1時間59㎜、3時間137㎜の降雨量を観測しました。

■雨量観測所位置及び降雨量



洪水	区分	小原井	吉野	古後	下郷	家籠	岩屋	鳥屋	馬場	耶馬渓ダム	大野	東谷	樋田	横川	中津
7月3日洪水	1時間雨量	60	77	79	73	69	70	71	67	75	56	67	46	44	35
	3時間雨量	123	202	187	195	173	174	167	182	193	136	181	121	88	56
7月14日洪水	1時間雨量	78	65	60	59	50	52	49	57	63	65	60	48	49	42
	3時間雨量	139	142	119	137	84	95	84	126	130	127	112	101	88	76

単位：㎜

災害発生までの気象・警報等の経緯

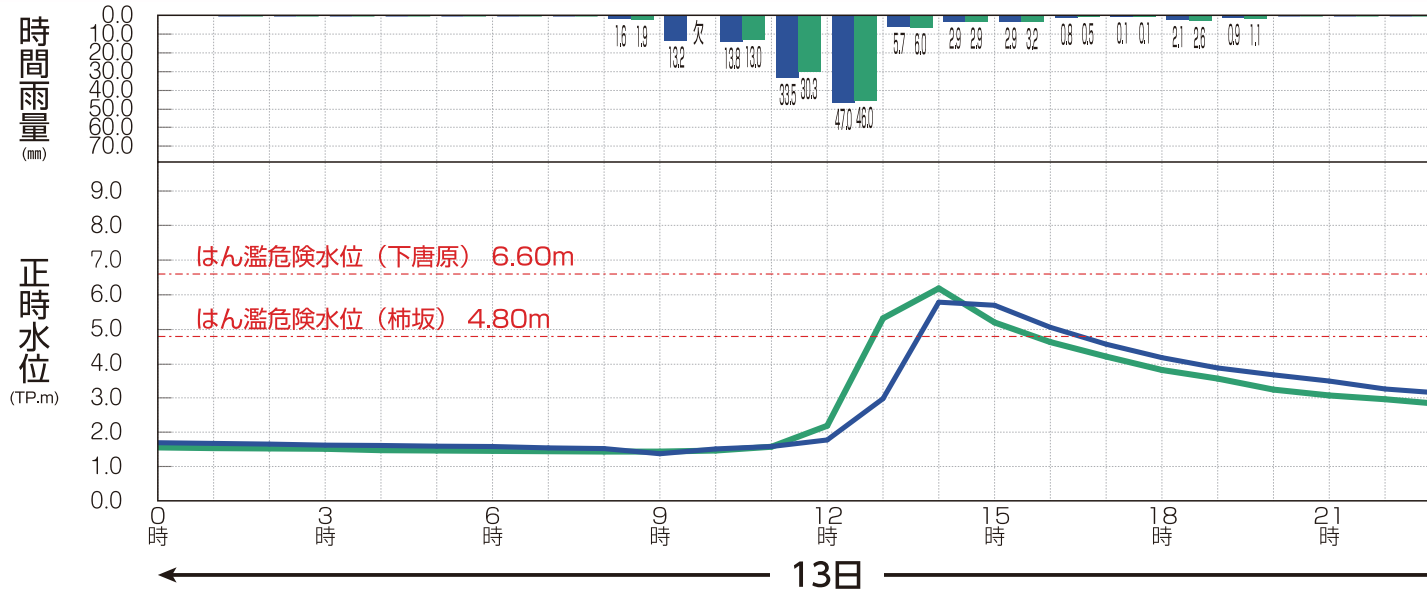
山国川では、7月3日に既往最大の出水が発生し大きな被害が出ました。
その応急復旧作業や被災住宅などの後片付けが終了した直後の7月14日に同規模の2度目の洪水が発生しました。

7月1日から15日までの約2週間に約820mm（下郷雨量観測所）もの降雨があり、これは耶馬溪の年平均雨量（約1,900mm）の約43％になります。この間、柿坂・下唐原水位観測所で延べ5回、氾濫危険水位を超過し、上流区間で家屋浸水や護岸が崩壊するなど甚大な被害が発生しました。

■注意報・警報等発令経緯

時間経過	発令状況	概　況
7月　3日 04:40	大雨警報、洪水警報	1時間最大雨量60mm
07:55	山国川上流部はん濫警戒情報	水位上昇中、柿坂水位観測所では、はん濫危険水位(H=3.80m)に達する見込み
08:35	山国川上流部はん濫危険情報	2日23時から3日8時までの上流域の平均雨量は117mmに達した 柿坂水位観測所では、はん濫危険水位(H=4.80m)に達し、はん濫するおそれがある
09:20	山国川下流部はん濫警戒情報	下唐原水位観測所では、避難判断水位(H=6.00m)に達し、今後はん濫危険水位(H=6.60m)に達する見込み
10:00	山国川下流部はん濫危険情報	2日23時から3日9時までの山国川流域の平均雨量は157mmに達した 下唐原水位観測所では、はん濫危険水位に達し、はん濫するおそれがある
15:40	大雨警報(継続)、洪水注意報	土砂災害警戒
19:15	大雨注意報、洪水注意報(継続)	1時間最大雨量40mm
7月　4日 08:00	大雨警報、洪水注意報(継続)	土砂災害警戒
10:15	大雨警報(継続)、洪水警報	1時間最大雨量60mm
13:25	大雨警報(継続)、洪水注意報	土砂災害警戒
17:15	大雨警報(継続)、洪水注意報解除	土砂災害警戒
18:30	大雨注意報	
7月　5日 01:10	大雨警報、洪水注意報	土砂災害警戒
05:10	大雨警報(継続)、洪水注意報解除	土砂災害警戒
07:30	大雨注意報	
16:41	大雨注意報解除	
7月 11日 16:57	大雨注意報、洪水注意報	1時間最大雨量40mm
23:50	大雨警報、洪水警報	1時間最大雨量50mm
7月 12日 05:35	大雨警報解除、洪水警報解除	
7月 13日 09:07	大雨注意報、洪水注意報	1時間最大雨量40mm
12:30	大雨警報、洪水警報	1時間最大雨量60mm
13:15	山国川上流部はん濫危険情報	13日8時から13日12時までの山国川上流域の流域平均雨量は50mmに達した 柿坂水位観測所では、はん濫危険水位(H=4.80m)に到達し、はん濫するおそれがある
14:45	山国川上流部はん濫発生情報	中津市青地区(青の洞門付近)ではん濫が発生
〃	山国川下流部はん濫警戒情報	13日8時から13日13時までの山国川の流域平均雨量は86mmに達した 下唐原水位観測所では、避難判断水位(H=6.00m)に達し、今後さらに水位が上昇する見込み
20:30	大雨警報(継続)、洪水注意報	土砂災害警戒
7月 14日 01:30	大雨警報(継続)、洪水警報	1時間最大雨量70mm
02:40	山国川上流部はん濫警戒情報	13日8時から14日2時までの山国川上流域の流域平均雨量は132mmに達した 柿坂水位観測所では、はん濫危険水位(H=4.80m)に達する見込み
05:50	山国川上流部はん濫危険情報	13日8時から14日5時までの山国川上流域の流域平均雨量は164mmに達した 柿坂水位観測所では、はん濫危険水位に到達し、はん濫のおそれがある
06:45	山国川下流部はん濫警戒情報	13日8時から14日6時までの山国川の流域平均雨量は194mmに達した 下唐原水位観測所では、はん濫危険水位(H=6.60m)に達する見込み
06:50	山国川上流部はん濫発生情報	中津市青地区付近で無堤部浸水、中津市柿坂付近で道路浸水
07:30	山国川下流部はん濫危険情報	下唐原水位観測所では、はん濫危険水位(H=6.60m)に達し、はん濫のおそれがある
12:30	山国川上流部はん濫警戒情報	13日8時から14日11時までの山国川上流域の流域平均雨量は268mmに達した 柿坂水位観測所では、避難判断水位(H=4.40m)を下回る 水位は下降する見込み
21:15	大雨注意報、洪水注意報	
7月 15日 02:45	大雨注意報(継続)、洪水注意報解除	
16:10	大雨注意報解除	

山国川出水時の時系列表（平成24年7月13～14日）



警報等

- 9:07 大分県北部に大雨・洪水注意報発表
- 12:30 大分県北部に大雨・洪水警報発表
- 13:15 山国川上流部はん濫危険情報
- 14:45 山国川上流部はん濫発生情報 / 山国川下流部はん濫警戒情報
- 15:50 山国川下流部はん濫注意情報
- 16:50 山国川上流部はん濫注意情報
- 17:50 山国川下流部はん濫注意情報解除
- 19:10 山国川上流部はん濫注意情報解除
- 20:30 大分県北部は洪水警報から洪水注意報に

国土交通省及び水防団の動き

事務所の体制

- 12:50 非常体制
- 21:00 警戒体制

柿坂

- 12:20 待機・準備
- 12:30 出動
- 12:45 警戒
- 16:10 警戒
- 18:10 待機

下唐原

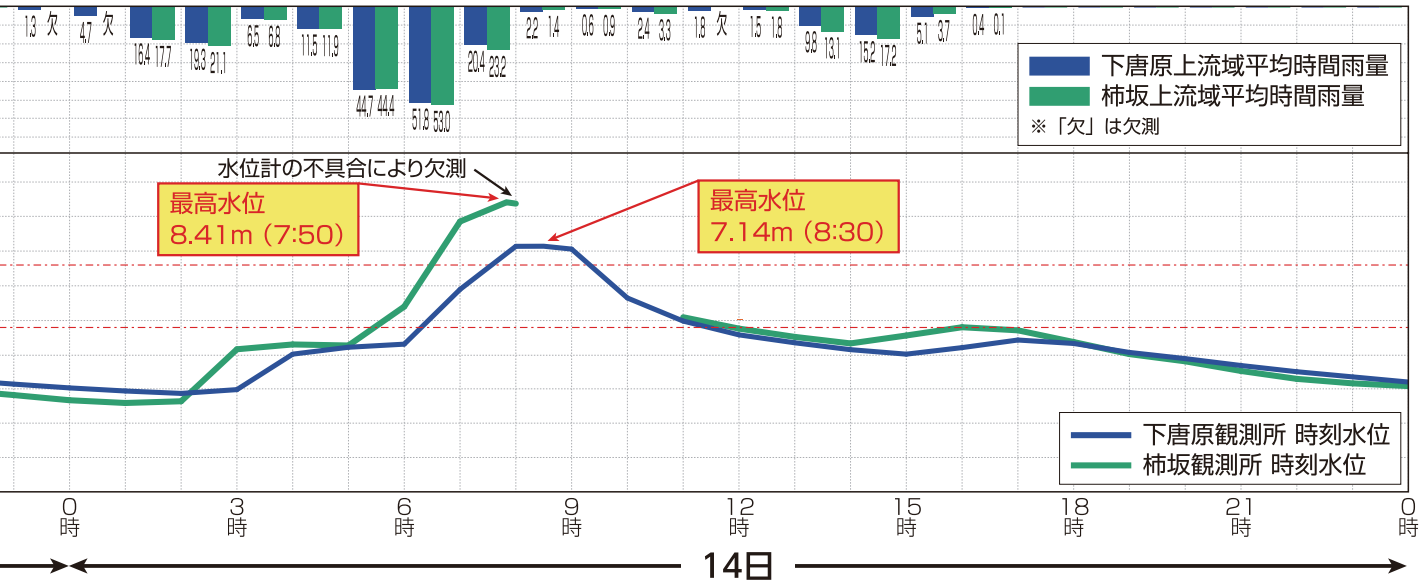
- 13:20 待機
- 13:40 出動
- 14:00 警戒
- 16:30 待機
- 17:30 解除

地元自治体の動き

中津市の体制

- 12:55 本耶馬渓町青地区に避難勧告
- 12:55 災害対策本部の設置
- 13:25 本耶馬渓町多志田・冠石野・樋田地区に避難勧告
- 14:08 耶馬渓町全域に避難勧告
- 17:00 本耶馬渓町の避難勧告解除
- 18:20 耶馬渓町の避難勧告解除

上毛町の体制



1:30 大分県北部は洪水注意報から洪水警報に
2:40 山国川上流部 はん濫警戒情報
5:50 山国川上流部 はん濫危険情報
6:45 山国川下流部 はん濫警戒情報
6:50 山国川上流部 はん濫発生情報
7:30 山国川下流部 はん濫危険情報
10:30 山国川下流部 はん濫注意情報
11:40 山国川下流部 はん濫注意情報解除
12:30 山国川上流部 はん濫警戒情報
18:20 山国川上流部 はん濫注意情報
20:45 山国川上流部 はん濫注意情報解除
21:15 大分県北部は大雨・洪水警報から大雨・洪水注意報に

5:30 非常体制

2:00 準備
2:30 出動
5:30 警戒
7:50 ピーク水位 H＝8.41m
8:30 警戒
11:40 警戒
21:00 待機

6:00 待機
6:20 準備
6:40 出動
7:10 警戒
8:30 ピーク水位 H＝7.14m
11:00 待機
12:50 解除

5:50 本耶馬渓町青・樋田・多志田地区に避難勧告
6:01 耶馬渓町全域に避難勧告
6:03 山国町全域に避難勧告
7:25 本耶馬渓町上曽木地区に避難勧告
8:55 三光町臼木地区に避難勧告

7:00 災害対策本部の設置
7:45 下唐東・下唐西地区に避難指示・自主避難呼びかけ
9:50 避難指示解除

勧告時最大避難者数

本耶馬渓	耶馬渓	山国
204名	374名	318名

勧告時最大避難者数

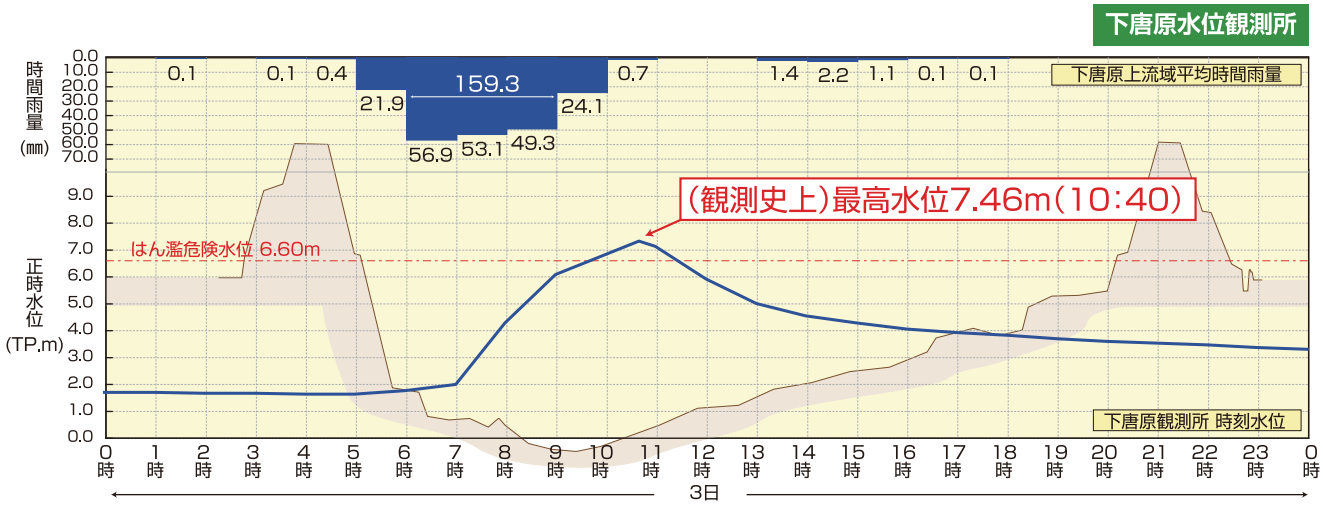
唐原コミュニティーセンター	げんきの杜	自主避難
8名	4名	7名

山国川水位の概要（平成24年7月3日）

7月3日の降雨では、これまでに記録を上回る豪雨が短時間に降り、山国川水系の多くの観測所において、観測史上最高水位に達しました。

下唐原水位観測所では、1時間に約2mと急激に水位が上昇し、はん濫危険水位を越えました。

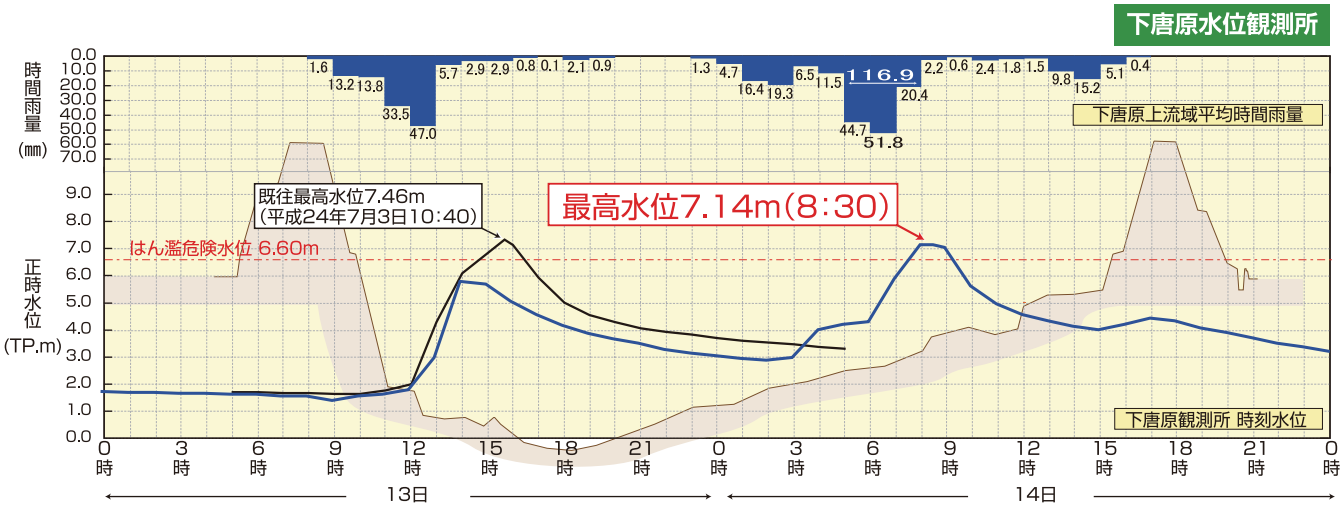
■水位観測所位置及び水位波形図

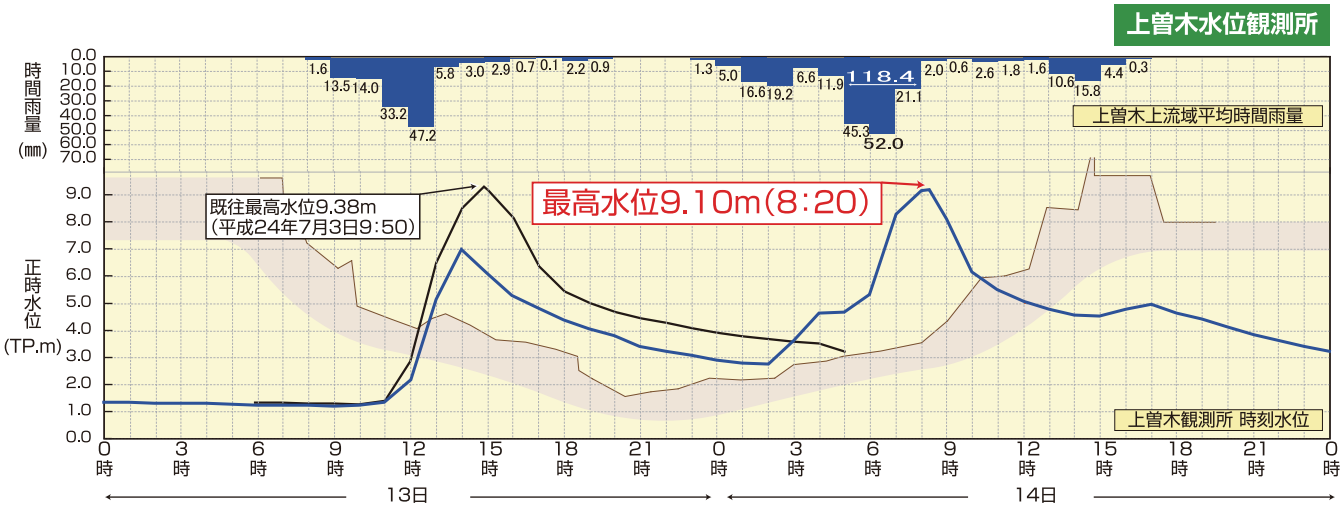


出典：統一河川情報システム雨量を用い算出　※水位は毎正時の値（出典：統一河川情報システム）

山国川水位の概要（平成24年7月13～14日）

7 月 13 ～ 14 日の降雨では、下唐原水位観測所で 3 日の水位 7.46m に次ぐ 7.14m を記録しました。
下唐原水位観測所・上曽木水位観測所では、13 日、14 日共に降雨により 2 度も『氾濫注意水位』を超えました。





7月3日の降雨では、山国川流域の全水位観測所7箇所のうち5箇所で既往最高水位を記録しました。
13～14日の降雨では、上流の2箇所で3日を上回る水位に達し、他の観測所でも同程度の水位を記録しています。

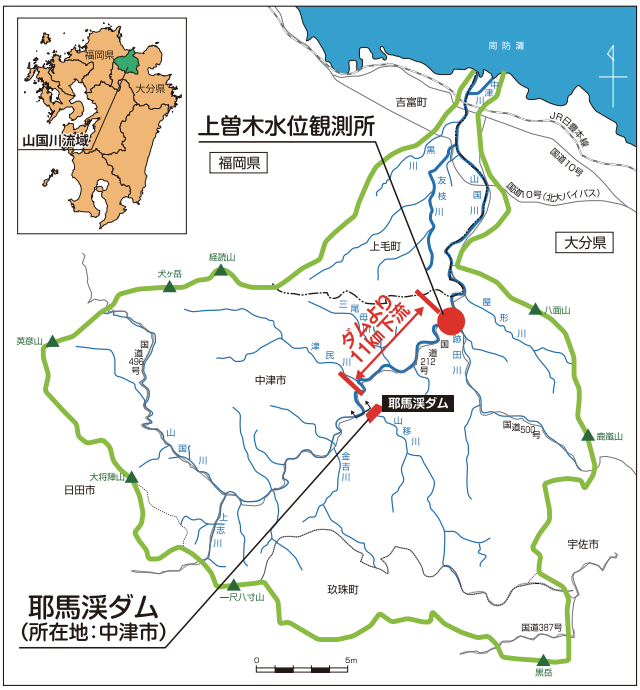
河川名	観測所名	水防団待機水位 m	はん濫注意水位 m	避難判断水位 m	はん濫危険水位 m	計画高水位	7月3日出水		7月13日出水		7月14日出水		既往最高水位（推定）
							時 間	水位 m	時 間	水位 m	時 間	水位 m	
山国川	下 郷						09:40	5.77	13:30	4.57	07:10	6.02	3.87 (H5.9.3)
山国川	柿 坂	2.80	3.80	4.40	4.80	9.629	09:20	欠測	13:50	6.23	07:50	8.41	5.63 (H5.9.3)
山国川	上曽木	2.80	3.80			9.253	09:50	9.38	13:50	6.92	08:20	9.10	8.10 (H5.9.3)
山国川	新原井					13.683	09:20	12.47	―	―	―	―	11.75 (H19.8.2)
山国川	下唐原	4.40	5.00	6.00	6.60	8.845	10:40	7.46	14:20	6.01	08:30	7.14	8.25 (S19.9.7)
山国川	金 谷	4.70	5.40			8.170	10:20	6.87	14:30	5.17	08:10	6.77	6.49 (H19.8.2)
山国川	小 祝		4.40			5.000	10:30	4.22	03:00	3.06	08:30	3.96	5.13 (H11.9.24)

7月3日：既往最高水位を超過した観測所　7月13～14日：既往最高水位を超過した観測所

耶馬渓ダムの洪水調節効果

山国川水系耶馬渓ダムの上流域において、4時間で203.8mmの雨量を観測しました。
ダムへの最大流入量は毎秒約1,107立方メートルに達し、耶馬渓ダムの管理開始以降最大を記録しました。
耶馬渓ダムでは洪水調節が行われ、下流の中津市本耶馬渓町青地区において水位を約0.9m低下させる効果がありました。

■耶馬渓ダム位置図

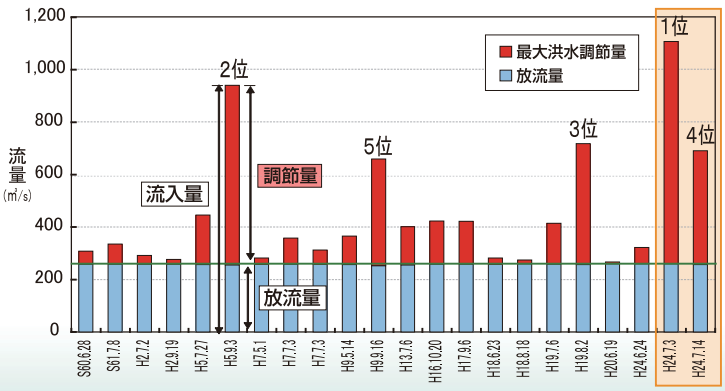


○7月3日の降雨では山国川水系耶馬渓ダムの上流において、4時間で203.8㎜の降雨量を観測し、最大流量は毎秒約1,107立方メートルに達しました。これは、ダム管理開始以降、平成9年9月3日の台風13号による最大流量毎秒約941立方メートルを超える記録となりました。

○今回の洪水調節操作において、操作規則に基づき適切な操作を行うことで約772万立方メートル（福岡ヤフオクドーム約4.5杯分）の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒847立方メートル（約8割）低減させました。

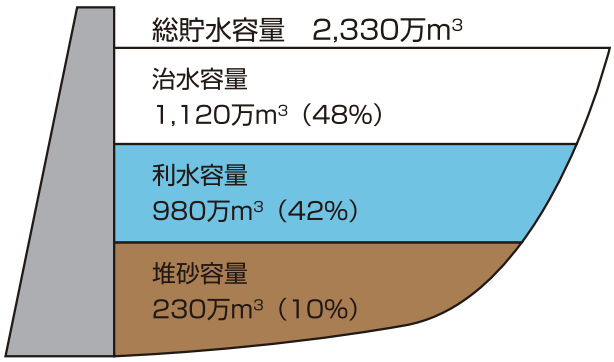
○この結果、下流の上曽木観測所地点（大分県中津市本耶馬渓町青地区）では約0.9mの水位を低下させる効果を発揮しました。

■管理開始以降（27年間）の洪水調節実績

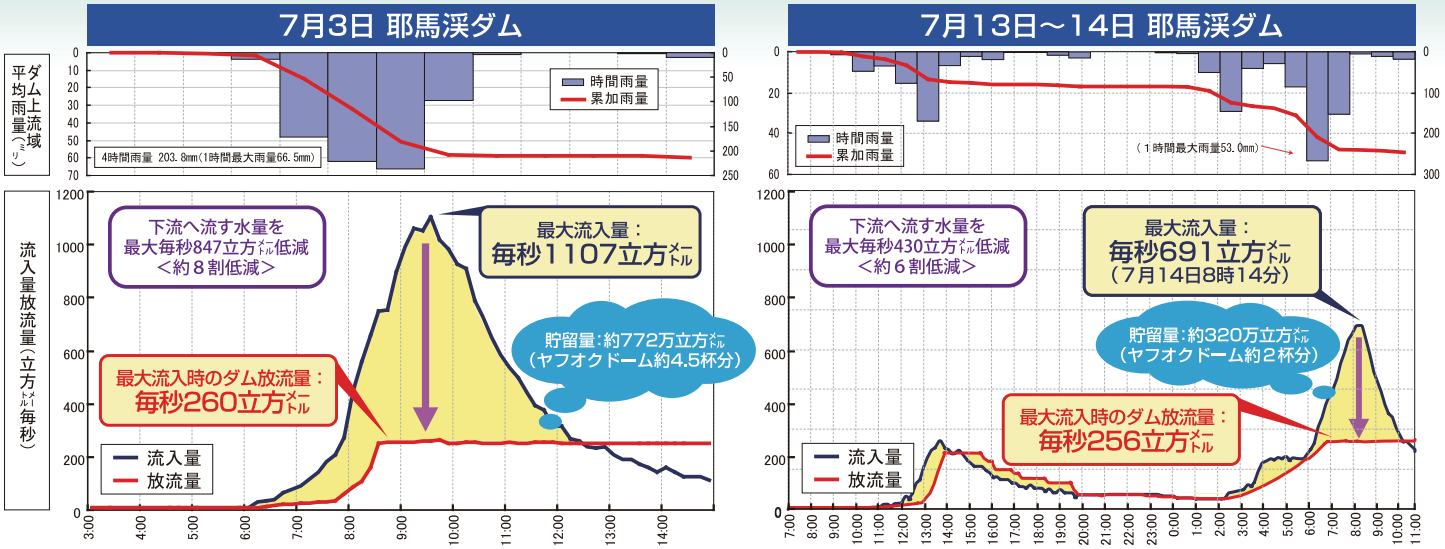


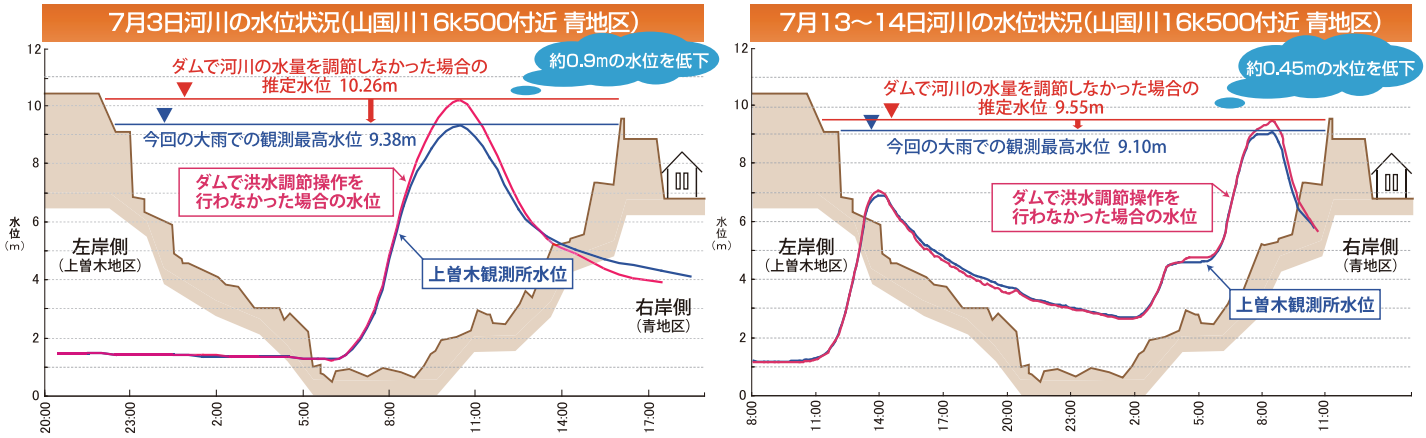
■耶馬渓ダム諸元

形　　式	重力式コンクリートダム
堤　　高	62m
堤　頂　長	313m
堤　体　積	395,000m³
越流部標高	標高166.0m
非越流部標高	標高177.0m
集水面積	89km²
湛水面積	1.1km²



■耶馬渓ダム洪水調節操作図





※数値は速報値のため、今後変わる場合があります。

■耶馬渓ダム洪水調節とその効果

ダムの様子

洪水調節前水位　161.11mm

洪水調節中最高水位　170.81mm

ダムに流れ込んでくる様子

流入量毎秒約１立方メートル

流入量毎秒約860立方メートル

浸水状況

山国川水系流域各地を襲った洪水!

7月3日の豪雨では、山国川柿坂水位観測所で「はん濫危険水位」を超え、上流区間において洪水流が越水し、家屋浸水等が発生、また国道や護岸が崩壊するなど甚大な被害が発生しました。

さらに7月14日の降雨でも再び上流区間において洪水流が越水し、3日に引き続き、家屋浸水等や護岸等の施設被害が発生しました。

山国川水系山国川浸水範囲

：7月3日出水の浸水範囲
：7月14日出水の浸水範囲
：越水箇所

			7/3洪水	7/14洪水
浸水区域面積		ha	58.1	50.1
家屋被害	床上浸水	戸	132	125
	床下浸水	戸	62	63
	計	戸	194	188

※浸水範囲は国土交通省による調査結果です。
※速報値のため今後の調査結果により変わることがあります。

中津市高瀬地区、相原地区

⑧ 平成大堰の様子

⑩ 恒久橋の様子

被災した大井手堰（7月3日出水）

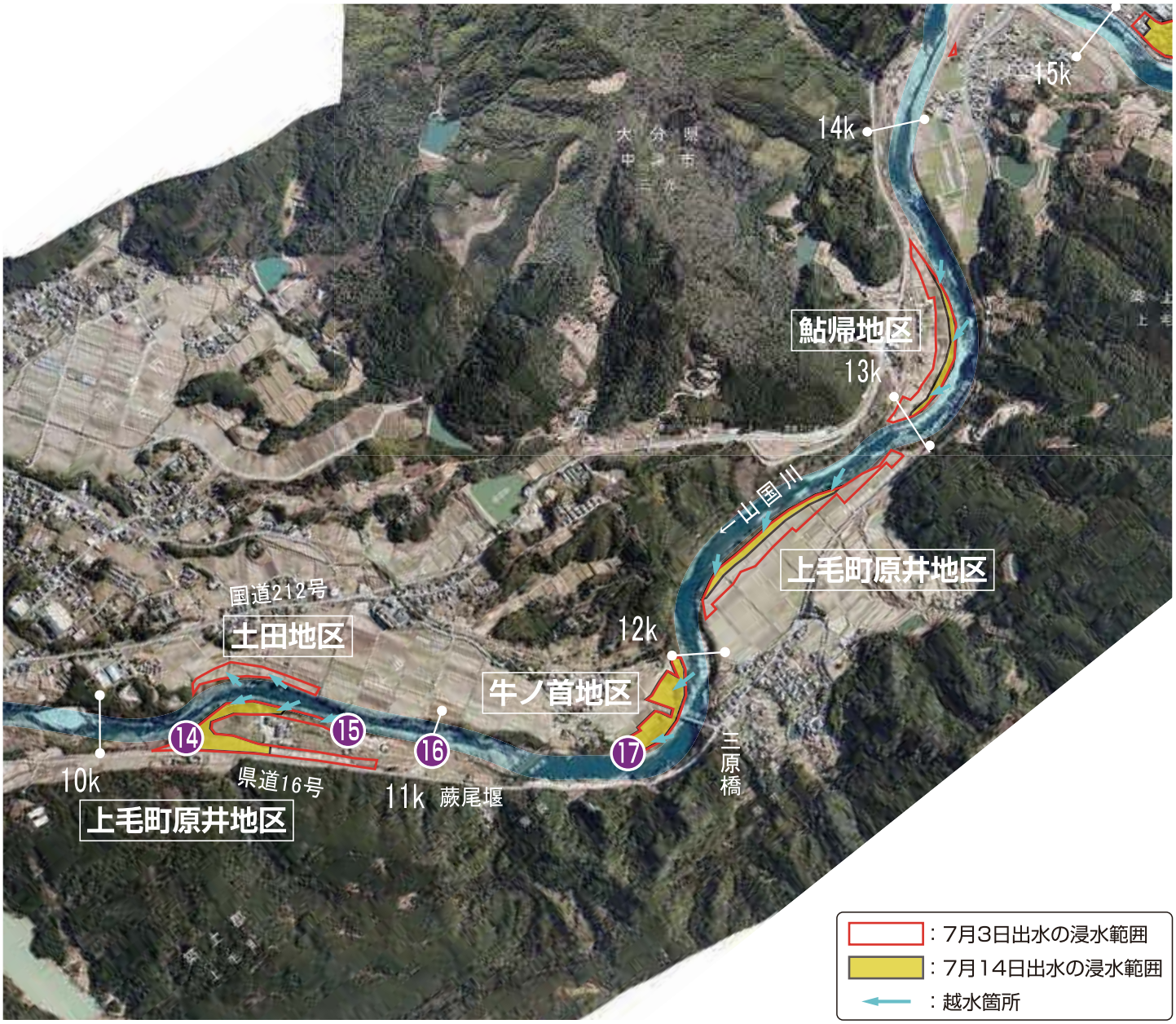
被災した大井手堰（7月3日出水）

川の水かさが増す恒久橋下流（7月3日出水）

濁流の中の大井手堰（7月14日出水）

川の水かさが増す恒久橋上流（7月14日出水）

上毛町原井地区、中津市牛ノ首地区



越水して田へ流れ込む水（7月14日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

土のう製造器で大量に作られる土のう（7月3日出水）

夜を徹して行われる復旧作業（7月3日出水）

川に呑まれる家（7月14日出水）

家のすぐそばにまで迫る（7月14日出水）

中津市樋田地区、曽木地区

集落に押し寄せた流木やガレキ（7月3日出水）

濡れた家財を運び出す人々（7月3日出水）

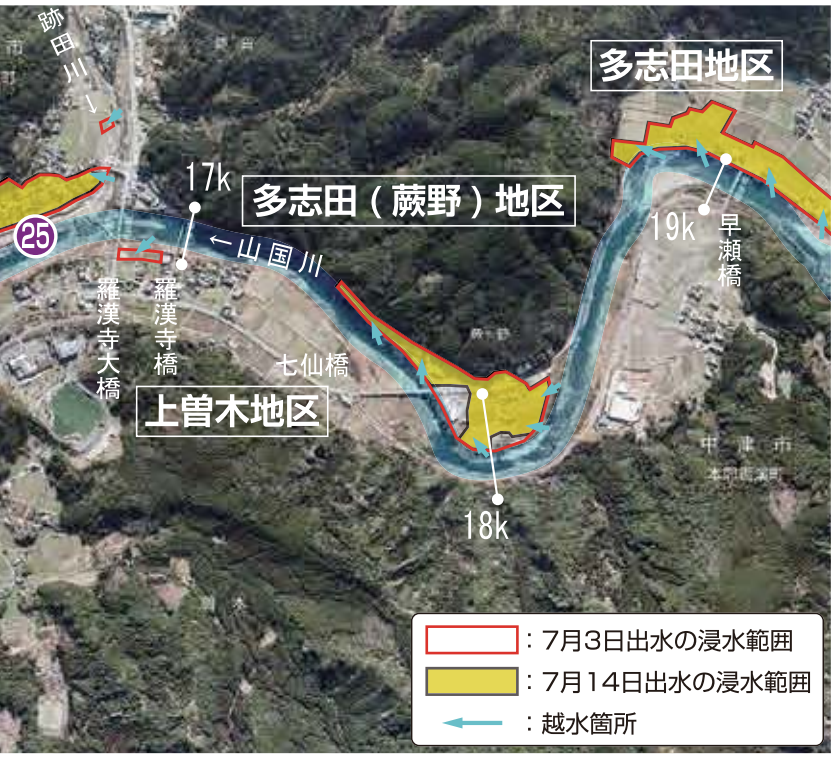
■青の禅海橋　山国川16.4k付近の水位変化

上曽木水位観測所：約7.1m　7月3日8：10頃

上曽木水位観測所：約7.7m　7月3日8：30頃

赤い線の付近まで浸水しました（7月3日出水）

泥にまみれた家屋（7月3日出水）



土砂が溜まった道路（7月3日出水）

上曽木水位観測所：約8.3m　7月3日8：50頃

上曽木水位観測所：約8.3m　7月3日9：50頃

中津市樋田地区、曽木地区

被災した耶馬溪橋（7月3日出水）

荒瀬堰に押し寄せたガレキ（7月3日出水）

20 洞門橋付近の様子

3日に引き続き洪水流が越水する（7月14日出水）

濁流が押し寄せる洞門橋（7月14日出水）

県の史跡「青の洞門」に押し寄せる濁流（7月14日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

駐車場に押し寄せる濁流（7月14日出水）

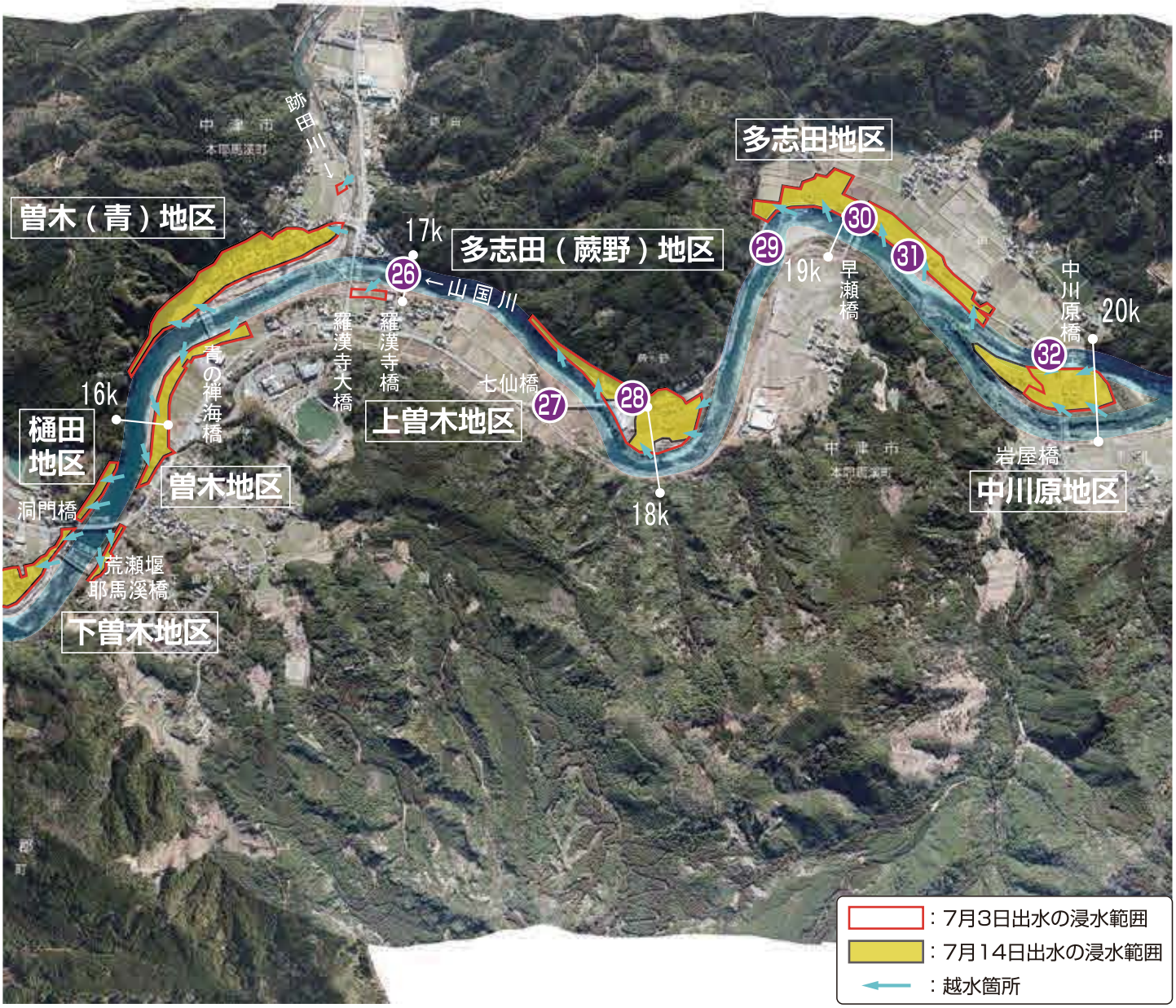
水没する駐車場（7月14日出水）

水没する駐車場（7月14日出水）

水没する駐車場（7月14日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

中津市上曽木地区、多志田地区



水没する七仙橋（7月14日出水）

流木によって被災した高欄（7月14日出水）

被災した羅漢寺橋（7月3日出水）

越流した水が流れた痕跡（蕨野地区）（7月3日出水）

水没する国道212号（7月14日出水）

激しい流れの山国川（7月14日出水）

被災した早瀬橋（7月3日出水）

被災した家屋（7月14日出水）

被災した護岸（7月3日出水）

越水している様子（7月3日出水）

中津市中川原地区

崩壊した護岸（7月3日出水）

護岸と家屋の崩壊（7月14日出水）

護岸と家屋の崩壊（7月14日出水）

押し寄せた流木やガレキ（7月3日出水）

崩壊した護岸（7月14日出水）

越水する様子（7月14日出水）

被災した水路橋（7月3日出水）

国道212号に押し寄せたガレキ（7月3日出水）

木に引っかかっている流木（7月3日出水）

片側車線が崩壊している国道212号（下戸原付近）（7月14日出水）

中津市平田地区、戸原地区

水流の勢いでなぎ倒されている防護柵（21k000 下戸原付近）（7月3日出水）

護岸が崩壊している馬溪橋付近（7月3日出水）

水流の勢いでなぎ倒されている防護柵（21k000 下戸原付近）（7月3日出水）

洗掘された護岸（7月14日出水）

洗掘された遊歩道（7月3日出水）

被災した馬溪橋付近の護岸（7月3日出水）

床上浸水した家屋（7月3日出水）

崩壊した護岸（7月14日出水）

流された軽トラック（7月3日出水）

泥だらけになっている公民館（7月3日出水）

水が流れ波打っている舗装（7月3日出水）

中津市平田地区、戸原地区

洗い流された護岸の裏（7月14日出水）

越水している様子（7月14日出水）

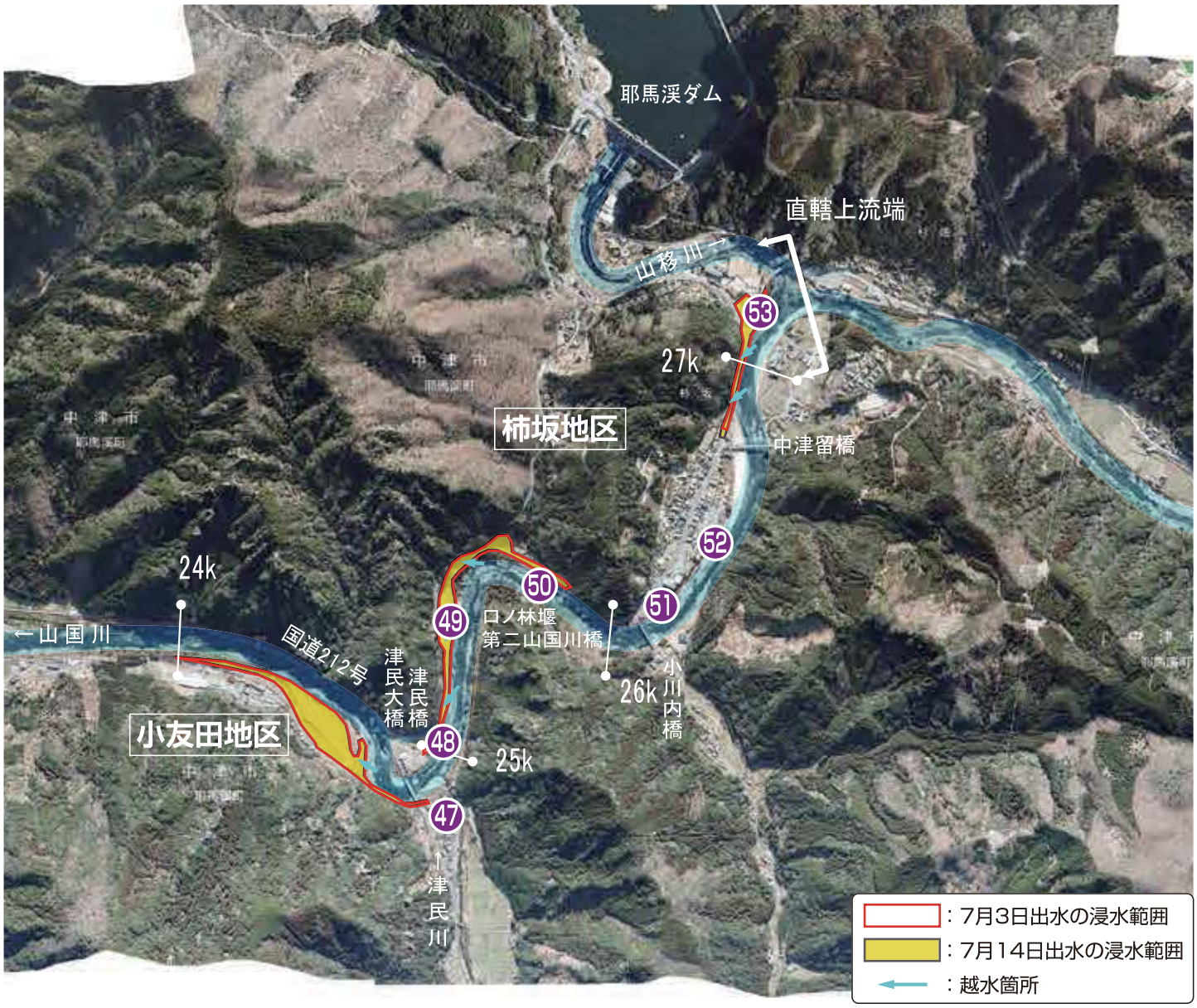
橋を越えている濁流（7月14日出水）

堤防ギリギリを流れる濁流（7月14日出水）

川のようになっている道路（7月14日出水）

洗掘された護岸の復旧方法の検討（7月3日出水）

中津市柿坂地区、小友田地区



越水により水没している家屋（7月3日出水）

車や流木などが引っかかっている津民橋（7月14日出水）

中津市柿坂地区、小友田地区

コンクリート製の側溝の蓋も流されて道路脇に堆積（7月3日出水）

流された木製の塀やステンレス製の机（7月3日出水）

流され電柱にぶつかり止まっている車（7月3日出水）

「やばの駅」駐車場のはがれたアスファルト（7月3日出水）

水害直後の「やばの駅」の様子（7月3日出水）

水害直後の「やばの駅」の店内の様子（7月3日出水）

流された第二山国川橋（サイクリングロード）（7月3出水）

土砂崩れ（7月14日出水）

洗掘された護岸（7月3日出水）

「耶馬渓中学校」前の駐車場のはがれたアスファルト（7月14日出水）

新聞記事

平成24年7月 山国川水系を襲った記録的豪雨!

（西日本新聞 平成24年7月15日）

豪雨に伴う中津市内の動き

3日午前4時40分	大雨洪水警報発令
7時15分	土砂災害警戒情報発表
7時50分	本耶馬渓町青地区に避難勧告発令
8時30分	中津市が災害対策本部を設置
9時25分	耶馬渓町全域に避難勧告発令
10時50分ごろ	[redacted]の行方不明情報が中津署に寄せられる
午後	行方不明現場の一帯で捜索。中津署が150人態勢で捜索開始
7時15分	大雨警報解除
5日	午後4時まで2避難勧告の対象住民らがほぼ帰宅
7日	中津市社会福祉協議会がボランティアの派遣を本格的に開始。8日も約150人が参加。

異変「滝のような雨」

日田市や中津市などを襲った九州北部豪雨から3日で1週間。記録的な豪雨による川の氾濫は収まったが、復旧の現場から見えた教訓をもう一度、雨音の急変の状況や無理の実態、その後の動きなどをまとめた。

中津 早朝の避難切迫 ボランティア続々と

3日午前4時40分、大雨洪水警報が発令、耶馬渓町・椎坂の男性(64)が「滝のような雨音」で目覚めたのは午前5時ごろだ。多くの住民はまだ布団の中。同町大字[redacted]の行方不明情報が中津署に寄せられ、ピークの同10時、本部員の警察地元で午前8時40分からの1時間雨量が91ミリ、耶馬渓、山国町で計約470人が約40カ所の避難所に集まった。

避難所に集まった市は同7時50分、本耶馬渓町青地区に避難勧告を発令、同地区の女性(77)は「着の身着のままで知人と逃げた」と切迫した様子を振り返る。同9時25分、耶馬渓町全域に避難勧告が発令、ピーク時には約5時の集計で、青地区など5カ所の集会所へ全壊11戸、床上・床下浸水231戸を含む被害が報じられている。

市は同7時15分、土砂災害警戒情報を発令。同地区の女性(77)は「着の身着のままで知人と逃げた」と切迫した様子を振り返る。同9時25分、耶馬渓町全域に避難勧告が発令。

[redacted]が行方不明だと中津署に連絡していた。

避難住民は身動きが取れない状態が続いたが、同日午後7時ごろ耶馬渓町全域に出ていた避難勧告が解除され、帰宅が進んだ。

一夜明けた4日、早朝から避難住民の浸水家屋の後片付けを始め、自主的にボランティアも駆けつけた。

避難住民は5日午後までに順次全員が帰宅した。

同市によると、8日午後5時の集計で、全壊11戸、床上・床下浸水231戸を含む被害が報じられている。

（大分合同新聞 平成24年7月10日）

大雨 上毛で避難も

床下浸水など傷痕

英彦山 最大の1時間雨量

（朝日新聞 平成24年7月4日）

豪雨再び 復旧阻む

住民に不安と焦り

県北西部

（西日本新聞 平成24年7月15日）

北部九州豪雨を踏まえた河川整備計画の変更

国土交通省山国川河川事務所では、山国川水系の国管理区間において、概ね30年間の具体的な河川整備の目標及びその内容を定めた「山国川水系河川整備計画」を平成22年10月に策定し、これに基づき河川整備を進めてきました。

そのような中、平成24年7月3日及び7月13日～14日の2度に亘り、平成22年10月に策定した「山国川水系河川整備計画」で定めた河道の整備目標流量を上回る規模の洪水が発生し、流域に甚大な被害が発生しました。

再度災害の防止及び軽減するために必要な取り組みを追加し、平成25年8月7日に「山国川水系河川整備計画」を変更しました。

「山国川水系河川整備計画」の変更については、学識経験者や地域住民の方々から頂いた意見を参考に作成し、地方公共団体の長である大分・福岡両県知事への意見聴取並びに関係省庁との協議を経て、変更されたものです。

1.変更までの経緯

平成２５年４月８日　河川整備計画（原案）公表
平成２５年６月７日　河川整備計画（案）公表
平成２５年８月７日　河川整備計画 変更

2.「山国川水系河川整備計画」の変更のポイント

Ⅰ.平成24年7月3日・14日の、２度にわたる甚大な洪水被害の発生を受けての対応

・整備計画の目標とする河道流量の変更
（下唐原地点：3,650m³/s→4,000m³/s）
・整備を行う箇所（被災箇所）の追加、
整備内容の 追加（掘削、伐採等）
・整備内容の追加に伴う「河川景観や生態系、
歴史・文化」への配慮の充実
・観測施設の強化や情報連絡体制の強化等、
危機管理体制の強化・充実
・河川管理施設及び河道等の、維持管理の充実

本計画の河川整備を実施すると →

戦後最大の洪水である平成24年7月3日洪水と同規模の洪水に対して被害を防止又は軽減することが可能です。

Ⅱ.南海トラフを震源とする地震による津波の想定への対応

・地震・津波対策の強化
・地域の津波防災地域づくりへの支援等による
総合的な防災・減災対策

Ⅲ.大規模災害時の応援要請への体制づくり

・要請に迅速に対応できるよう、平常時からの
応援活動体制の強化

本計画の河川整備を実施すると →

情報伝達の高度化や住民にわかりやすい災害情報の提供等を図り、住民とも連携し、防災への知識や意識の共有を図りながら、「自助・共助・公助」が連携した総合的な防災・減災対策を展開します。

※山国川流域の状況、生物の状況、水利用等の情報も最新のものに更新しました。

山国川床上浸水対策特別緊急事業等における整備箇所（直轄事業）

1．目的

平成24年7月3日の洪水を対象に、河道掘削、築堤および横断工作物の改築を集中的に実施することにより、床上浸水被害を防止します。

2．出水の概要

山国川水系山国川では、平成24年7月3日及び14日の梅雨前線豪雨により、下唐原水位観測所（基準地点：福岡県築上郡上毛町）において観測史上最高の水位を記録する洪水が発生しました。

これらの洪水により、山国川の中流から上流において、堤防未整備区間ではん濫が生じ、7月3日の洪水においては193戸、7月14日の洪水においては183戸の家屋・事業所等が浸水する甚大な被害が発生しました。

※浸水面積、戸数は国土交通省による調査結果です。また、浸水被害には内水による浸水も含まれています。

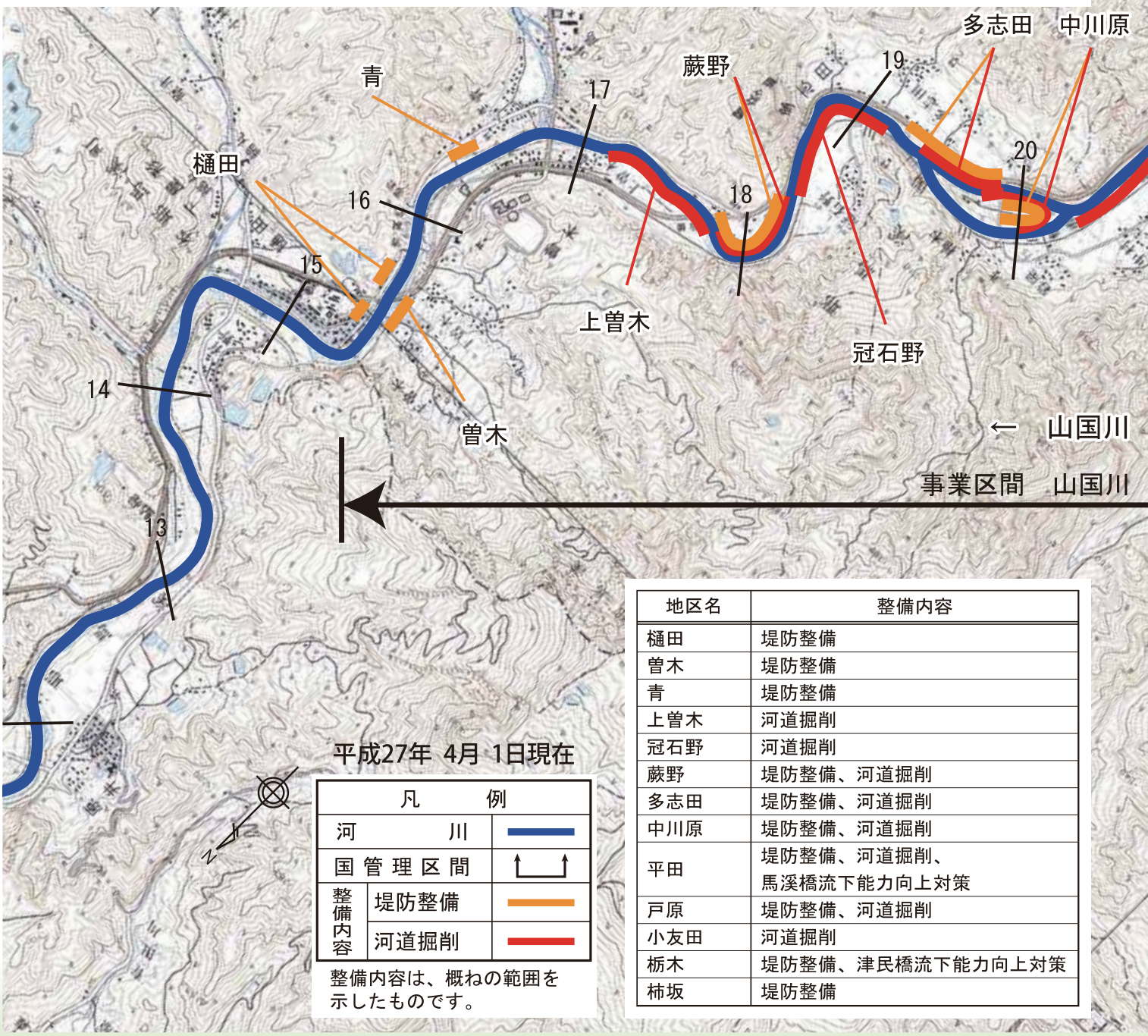
3．総事業費等

平成24年7月3日及び14日の洪水による災害に対し、本年度より緊急対策として床上浸水対策特別緊急事業を実施します。

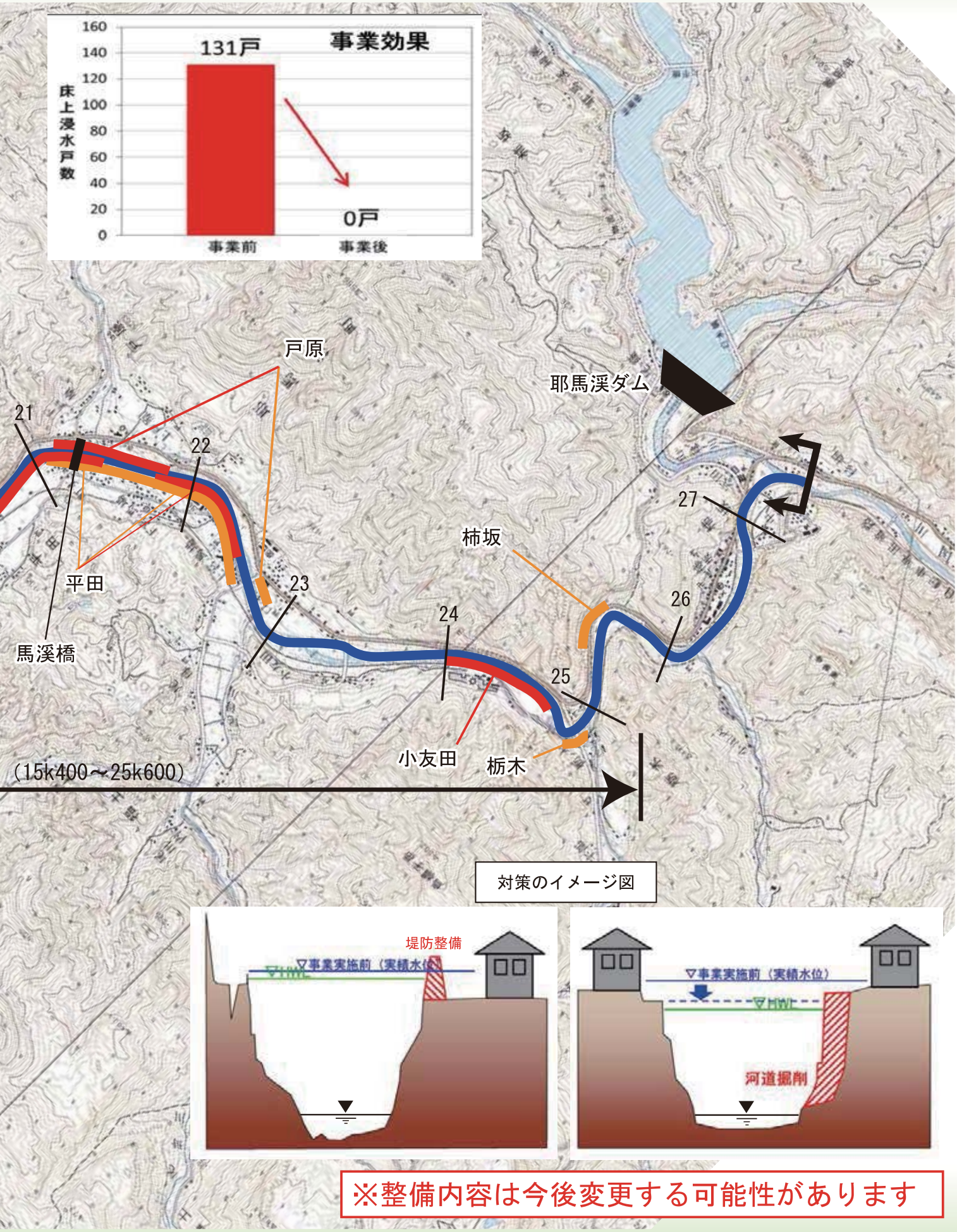
（総事業費約69億円、事業期間平成25年度から概ね5年間、事業区間山国川　15k400 ～ 25k600）

4．実施内容等

河道掘削、築堤および横断工作物の改築などを集中的に実施します。



地区名	整備内容
樋田	堤防整備
曽木	堤防整備
青	堤防整備
上曽木	河道掘削
冠石野	河道掘削
蕨野	堤防整備、河道掘削
多志田	堤防整備、河道掘削
中川原	堤防整備、河道掘削
平田	堤防整備、河道掘削、 馬溪橋流下能力向上対策
戸原	堤防整備、河道掘削
小友田	河道掘削
栃木	堤防整備、津民橋流下能力向上対策
柿坂	堤防整備



※整備内容は今後変更する可能性があります

国土交通省　九州地方整備局　山国川河川事務所

〒871-0026 大分県中津市高瀬1851-2
TEL：0979-24-0571
ホームページ：http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/